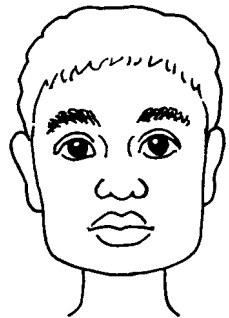
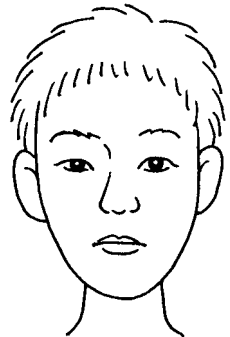


じょうもん やよい
縄文VS弥生

学習日 月 日

年 組 番 名前

1 縄文時代と弥生時代を、次の観点でくらべてみましょう。

観 点	縄文時代	弥生時代
年 代	約 () 万 () 千年前から 約 () 千 4 百年前	紀元前 4 ~ () 世紀から () 世紀
くらし	たてあな住居に住み、主にかりや漁 をしていた。	米づくりが伝わると、人々は米づくりに 適した低地に住むようになった。
食べ物	けものや魚、貝、木の実などをとって 食べた。	自然のものも食べたが、米をつくって 食べるようになった。
道 具	石器や骨角器、木器、() 土 器などを使った。	石器や骨角器、木器、() 土 器の他に、() 器や () 器なども使った。
土器の ちがい	低温で焼かれ、厚くてこわれやすい。 () 目のもようがついている。	高温で焼かれ、うすくてかたい。 かざりやもようは () 。
人	縄文人 	弥生人 

（縄文人と弥生人のちがいを「まゆ毛」「まぶた」「りんかく」「くちびる」からかきましよう。）

身長 (男) (女)	159.1cm 148.0cm	163.0cm 151.1cm
文化	健康や安産を祈って、土の人形をつくった。これを、() という。	青銅で作られた () は、はじめは鈴のように鳴らして音を聞くものだったが、しだいに大きくなった。
遺 跡	青森県にある、日本最大級の縄文のムラを () 遺跡という。 ・柱の高さが約 15m もある巨大な建物があった。 ・長さ 32m の大型たてあな住居があった。 ・アワ・ヒエ・クリなどが栽培されていたようだ。 ・人口が多いときは 500 人も住んでおり、1500 年以上もムラの生活は続いた。	佐賀県にある弥生時代のムラを () 遺跡という。 ・ムラは、二重三重の濠で守られていた。 ・堀を掘った土を濠のわきに盛り上げ、盛土の上には、すどくとがった柵をめぐらした。 ・高さが約 12m のやぐらがつくられ、見張りに使われた。 ・このことから、弥生時代になって () が始まったことがわかる。

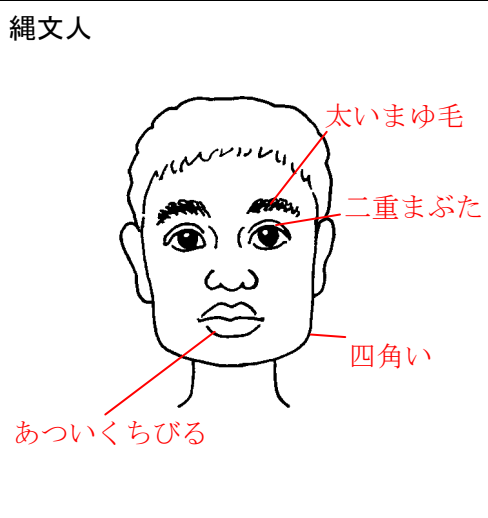

2 米づくりが始まって、人々の生活はどう変わったかを調べてかきましょう。

じょうもん やよい
縄文VS弥生

学習日 月 日

年 組 番 名前

1 縄文時代と弥生時代を、次の観点でくらべてみましょう。

観 点	縄文時代 ●約1万年続いた。	弥生時代 ●約600年続いた。
年 代	約(1)万(2)千年前から 約(2)千4百年前	紀元前4～(3)世紀から (3)世紀
くらし	たてあな住居に住み、主にかりや漁 をしていた。	米づくりが伝わると、人々は米づくりに 適した低地に住むようになった。 ●水が得やすかった。
食べ物	けものや魚、貝、木の実などをとって 食べた。	自然のものも食べたが、米をつくって 食べるようになった。●西日本のほうが米の 割合が高かった。
道 具	石器や骨角器、木器、(縄文)土 器などを使った。	石器や骨角器、木器、(弥生)土 器の他に、(鉄)器や(青銅) 器なども使った。
土器の ちがい	低温で焼かれ、厚くてこわれやすい。 (縄)目のもようがついている。	高温で焼かれ、うすくてかたい。 かざりやもようは(少ない)。
人 かきましよう。 (縄文人と弥生人のちがいを「まゆ毛」「まぶた」「りんかく」「くちびる」から)	縄文人 	弥生人 

身長(男) (女)	159.1cm 148.0cm	163.0cm 151.1cm
文化	健康や安産を祈って、土の人形をつくった。これを、(土偶)という。	青銅でつくられた(銅鐸)は、はじめは鈴のように鳴らして音を聞くものだったが、しだいに大きくなった。
遺 跡	青森県にある、日本最大級の縄文のムラを(三内丸山)遺跡という。 ・柱の高さが約15mもある巨大な建物があった。 ・長さ32mの大型たてあな住居があった。 ・アワ・ヒエ・クリなどが栽培されていたようだ。 ・人口が多いときは500人も住んでおり、1500年以上もムラの生活は続いた。	佐賀県にある弥生時代のムラを(吉野ヶ里)遺跡という。 ・ムラは、二重三重の濠で守られていた。 ・堀を掘った土を濠のわきに盛り上げ、盛土の上には、すどくとがった柵をめぐらした。 ・高さが約12mのやぐらがつくられ、見張りに使われた。 ・このことから、弥生時代になって(戦争)が始まったことがわかる。

2 米づくりが始まって、人々の生活はどう変わったかを調べてかきましょう。

- ・米づくりに適した、水の得やすい低地に住むようになった。
- ・共同で仕事をするので「むら」ができ、人々をまとめるかしらが出てきた。
- ・米は保存しやすいので、うえになやまされることが少なくなった。
- ・身分のちがいや、富んだ人と貧しい人との差が広がった。
- ・水田にする土地などをめぐって戦いが起こるようになった。